

活動報告

団体名	NPO 法人レスキューストックヤード
活動名	被災者が長期化する避難生活で活力を失わないための支援事業
活動期間	2018/09/6 ~ 2019/03/31
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段ボールベッドや布団の導入、共有スペース、洗濯物干場等の環境改善を行うことで、避難者の生活の質の向上につながった。</li> <li>・地元保健師からの相談・要請に丁寧に応じることで、町からの信頼を得ることができ、仮設住宅移行期も、継続的に支援に関われる土壌が醸成された。</li> <li>・指定避難所外避難所にも目を向けることで、支援から取りこぼしていた地域をカバーし、避難者の生活水準の向上と生活再建に向けた悩みの解消、取り残され感の軽減の一助になった。</li> <li>・足湯ボランティアや避難所や仮設住宅の環境改善を通じて、地元の NPO やボランティア、社協と連携・協働することにより、地元支援者の活動の場を広げることができ、地元のやる気が促進された。これにより、当法人がいなくても継続して被災者と関われる人の繋がりとプログラムを残すことができつつある。また、当法人が遠隔地からの支援につき、細かなニーズにタイムリーに対応しきれない場合の受け皿としても機能するようになった。</li> <li>・北海道足湯隊の丁寧な活動を通じて、被災者の生の声が行政や社協にも共有され、ニーズの早期発見と早期対応の一助になっている。</li> <li>・JVOAD と連携することで、被災地の課題を俯瞰的に捉えることができ、ボランティアによる支援がほとんど入っていないむかわ町穂別地区の支援ニーズが高いことが分かった。今後は社協および町と連携し、足湯&amp;サロン活動のエリア拡大に向けた現地ニーズ調査や地元キーパーソンの掘り起こしに力を入れていく。</li> <li>・足湯&amp;サロンへの評価が高まり、開催を希望する声が増えてきたが、足湯ボランティアの担い手不足が新たな課題として浮上している。北海道足湯隊のやる気の向上と担い手育成のための取り組みが今後の急務の課題である。</li> </ul>
寄付者へのメッセージ	<p>皆さんからの大切なご支援によって、多くの被災者の方に安心感をもたらし、生活の見通しを立てるお手伝いをすることができました。また、避難生活の長期化による災害関連死や重篤な健康被害防止の一助にもなったことと思います。引き続き、応援の程、よろしくお願い致します。</p>

(活動のようす)

